

研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： ポストペタスケールシミュレーションのための階層分割型数値解法ライブラリ開発

2. 研究代表者： 塩谷 隆二 （東洋大学総合情報学部 教授）

3. 中間評価結果

(1) 研究課題の進捗状況と成果の見込みについて

総合評価コメント

商用化を意識してプログラムの研究開発を計画通り進めており、大規模な FEM 構造解析や粒子法の解析ライブラリについては、賞を受賞するなど研究の質および成果の実用性に関して優れている。

これらのソフトウェアは公開されていて、ユーザコミュニティやソフトウェアベンダーとの協力体制が構築されており、今後の国際協力の展開により、成果物としてのソフトウェアの国際的利用者コミュニティの形成にも期待したい。開発中の DSL については普及に努めることが期待される。

ただし、研究開発の焦点が個々のライブラリの開発に特化しがちの印象がある。本領域はシステムソフトウェアの領域であり、ライブラリ共通のノウハウやプラットフォームへの最適化などについて、コンピュータサイエンス的なアプローチも行われることが望ましいと考える。

(2) 研究課題の継続可否と今後の展開について

総合評価コメント

研究は計画通りに順調に進んでおり、基本的に現行の計画通りに進めていくことで問題はない。一方、ポスト京の計画が次第に明らかになる時期であるので、それに向けてポスト京での展開を考えた研究開発を期待したい。そのためには、現在、選定作業が進められているポスト京の重点課題プログラムの実施機関との調整も必要ではないか。

以 上